



QY100

データファイラー

インストールガイド

目次

付属ソフトについて	3
QY100データファイラーのインストール方法	4
Windowsをお使いの方は	4
Macintoshをお使いの方は	5
QY100データファイラーとは？	7
QY100データファイラーの起動	8
データファイラーのメニュー表示	10
デバイスの設定について	11
Windowsをお使いの方は	11
Macintoshをお使いの方は	12
MIDI Managerについて (Macintoshをお使いのお客様へ)	13

ご注意

- このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- この取扱説明書の巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。封をされたCD-ROMのパックを開けると、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアのCD-ROMは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

* 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

付属ソフトについて

同梱のCD-ROM(Windows/MacintoshハイブリッドCD)には以下の付属ソフトが入っています。

Windowsをお使いの方は

QY100データファイラー

コンピューターを使ってQY100のデータを管理するソフトです。

QY100データファイラーの使用方法について詳しくは、インストール後、[スタート]メニュー→[プログラム]→[YAMAHA QY100 Data Filer]にある[QY100 Data Filerマニュアル](PDF形式)をご参照ください。

YAMAHA CBX Driver

コンピューターのシリアルポートとQY100のTO HOST端子を直接接続するために必要なMIDIドライバーです。

Acrobat Reader

PDF形式で作成されている取扱説明書を画面上で閲覧するためのソフトです。

インストールする場合は、「Acroread」の「Japanese」フォルダの中の「Ar405jpn.exe」をダブルクリックします。あとは、画面の指示に従ってインストールしてください。

Macintoshをお使いの方は

QY100データファイラー

コンピューターを使ってQY100のデータを管理するソフトです。

QY100データファイラーの使用方法について詳しくは、CD-ROMに付属の「QY100 Data Filer J.pdf」(PDF形式)をご覧ください。

MIDI Manager

コンピューターのシリアルポートとQY100のTO HOST端子を直接接続するために必要なMIDIドライバーです。MIDI ManagerとOMSのどちらかをインストールしてご使用ください。

OMS

コンピューターのシリアルポートとQY100のTO HOST端子を直接接続するために必要なMIDIドライバーです。MIDI ManagerとOMSのどちらかをインストールしてご使用ください。

Acrobat Reader

PDF形式で作成されている取扱説明書を画面上で閲覧するためのソフトです。

インストールする場合は、「Acrobat」フォルダの中の「Japanese Reader Installer」をダブルクリックします。あとは、画面の指示に従ってインストールしてください。

QY100データファイラーのインストール方法

Windowsをお使いの方は

QY100データファイラーをお使いになるには、まず付属のCD-ROMから、以下の手順でQY100データファイラーをインストールしてください。

QY100データファイラーをWindowsにインストールするには、以下のコンピューター環境が必要です。

●対応OS	Windows95/98/NT4.0/2000/Me
●CPU	486SX/33MHz以上
●実装メモリー	8MB以上
●ハードディスク	3MB以上
●画面	640×480ドット、256色以上

1. 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。
2. 「マイコンピュータ」の中のCD-ROMのアイコンをダブルクリックして開きます。「QY100_」フォルダをダブルクリックして開きます。
3. 「setup.exe」をダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

ここから先は、画面の指示にしたがってインストール作業を進めてください。



- Windowsをお使いの場合、上記手順でQY100データファイラーをインストールし、さらにMIDIドライバーをインストールする必要があります。MIDIドライバーのインストール方法については、下記を参照してください。

● YAMAHA CBX Driverのインストール(Windows95/98/NT4.0/2000/Me用)

1. 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。
2. 「マイコンピュータ」の中のCD-ROMのアイコンをダブルクリックして開きます。「QY100_」フォルダをダブルクリックして開きます。
3. 「MIDIdrv_」フォルダをダブルクリックして開きます。
4. 「setup.exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

ここから先は、画面の指示にしたがってインストール作業を進めてください。

Macintoshをお使いの方は

QY100データファイラーをお使いになるには、付属のCD-ROMから、以下の手順でQY100データファイラーをインストールします。また、MIDIドライバー(QY100データファイラーではMIDIシステムと呼びます)としてMIDI ManagerとOMSのどちらかをインストールしてください。両方インストールして、QY100データファイラーで使用するMIDIドライバーを切り替えることもできます(→12ページ)。

QY100 データファイラーをMacintoshにインストールするには、以下のコンピューター環境が必要です。

●対応OS	漢字Talk 7.5以上
●CPU	68030以上
●実装メモリー	3MB以上
●ハードディスク	4MB以上
●画面	256色以上

1. 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。
2. CD-ROMのアイコンが表示されるので、ダブルクリックして開きます。
「Japanese」フォルダの中の「QY100」フォルダをダブルクリックして開きます。
3. 「QY100 Data Filer」アイコンをドラッグして、ハードディスクの任意の場所にコピーします。

・ MIDI Managerを使う場合

4. 「MIDI Manager 2.0.2」フォルダをダブルクリックして開きます。その中身をすべてMacintoshの「システムフォルダ」アイコンにドラッグします。
「システムフォルダ」にドラッグされた各ファイルは、自動的に「システムフォルダ」内の適切な場所にコピーされますので、確認のダイアログが表示されたら、すべて「OK」をクリックしてください。
アップルメニューからPatch Bayを起動したい場合は、「システムフォルダ」にインストールされた「Patch Bay」ファイルを「アップルメニュー」フォルダにドラッグして移動してください。

5. Macintoshを再起動します。

これでQY100データファイラーのインストールは完了です。



- MIDI Managerについて詳細は、13ページを参照してください。

・ OMS(Open Music System)を使う場合

4. 「OMS」フォルダをダブルクリックして開きます。「OMS Setup for QY100」フォルダをドラッグして、ハードディスクの任意の場所にコピーします。
5. 「Install OMS 2.3.3J」アイコンをダブルクリックすると、インストール画面が表示されます。必要に応じて「インストールする場所」を変更し、「インストール」をクリックするとインストールが始まります。
6. インストールが終わると、「インストールが完了しました」というメッセージが表示されます。「再起動」をクリックして、コンピューターを再起動します。

これでQY100データファイラーのインストールは完了です。



- OMSを使用する場合はOMSのセットアップを有効にする必要があります。詳しくは、12ページを参照してください。
また、OMSについて詳細は、CD-ROMに付属の「OMS 2.3J_Manual.pdf」を参照してください。

QY100データファイラーとは？

QY100データファイラーは、コンピューターを使ってQY100のデータを管理するソフトウェアです。QY100データファイラーをコンピューターにインストールした上で、QY100とコンピューターを接続して(→QY100取扱説明書22ページ参照)活用してください。

QY100データファイラーを使用することにより、QY100で作成したデータをコンピューターに保存したり、逆にコンピューター上で保存されているデータをQY100に送信したりすることができます。また、市販のSMFソングデータ集(XG/GMソングデータ集など)のデータをコンピューターからQY100に送信してQY100で再生できるようにしたり、コンピューターからQY100のデータをクリアしたりすることもできます。



- QY100データファイラーは、QY100専用のアプリケーションソフトです。他の機器に対してはご使用になれません。

1 QYデータの送受信

QY100 → コンピューター

- ・ QY100のすべてのデータをバルクファイルとしてコンピューターに保存

コンピューター → QY100

- ・ コンピューターに保存されているバルクファイルをQY100に送信
- ・ コンピューターに保存されているバルクファイルの中からソングデータ1つをQY100に送信
- ・ コンピューターに保存されているバルクファイルの中からユーザースタイルデータ1つをQY100に送信

2 SMFデータの送受信

QY100 → コンピューター

- ・ QY100のソングデータをSMFデータに変換してコンピューターに保存

コンピューター → QY100

- ・ コンピューターに保存されているSMFデータをQY100に送信

3 QY100のデータのクリア

コンピューター → QY100

- ・ QY100のソングネームをコンピューターにリスト表示し、1つまたはすべてのソングをクリア
- ・ QY100のユーザースタイルネームをコンピューターにリスト表示し、1つまたはすべてのユーザースタイルをクリア

QY100データファイラーの起動

1 QY100データファイラーを起動します。

QY100データファイラーをインストールし(→4, 5ページ参照)、QY100とコンピュータを接続してから(→QY100取扱説明書22ページ参照)、以下の手順でQY100データファイラーを起動します。

● Windows 95/98/NT4.0/2000/Meの場合

[スタート]ボタンをクリックし、「プログラム」メニューの「YAMAHA QY100 Data Filer」内の「QY100 Data Filer」をクリックします。

● Macintoshの場合

ハードディスクの任意の場所にコピーした「QY100 Data Filer」アイコンをダブルクリックします。



MEMO

- MacintoshでQY100データファイラーをご使用になる場合は、アップルメニューのセレクトでApple Talkを「不使用」の状態にしてお使いください。



MEMO

- ご使用になっているコンピュータでMIDIドライバーが使用できない状態になっている場合、下記のようなメッセージが表示されます。

「指定されたMIDIデバイスはすでに使われています。他のアプリケーションを終了してください。」

→ [OK]をクリックし、MIDIドライバーを使用している他のMIDIアプリケーション(シーケンスソフトなど)を終了させてから、もう一度QY100データファイラーを起動してください。

「MIDIデバイスがありません。MIDIデバイスの設定を確認してください。」

→ MIDIドライバーが正しくインストールされていません。4~6ページの手順にしたがって、MIDIドライバーをインストールしてください。



MEMO

- ご使用になっているコンピュータにQY100が正しく接続されていない場合は「通信に失敗しました。QY100が正しく接続されていること(ホストセレクトスイッチ設定など)を確認してください。」というダイアログが表示されます。QY100を接続して、HOST SELECTスイッチの位置を確認してから、QY100データファイラーをもう一度起動してください。

2 トップ画面を確認しましょう。

QY100データファイラーを起動すると、次のような画面が表示されます。これを「トップ画面」と呼びます。

QYデータ【Send】

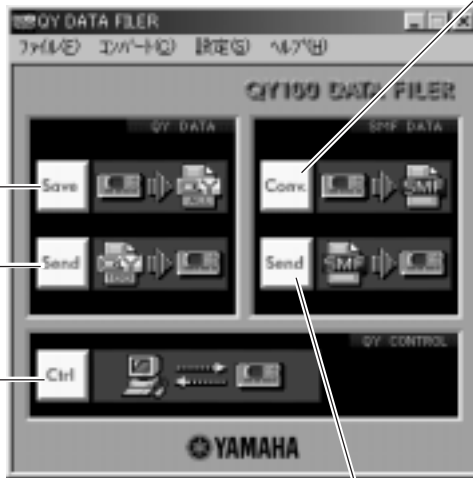
コンピューターに保存されているQY100のバルクファイル、またはその中に含まれる個々のソングやスタイルをQY100に送信

SMFデータ【Conv.】

QY100のソングデータ1つをSMFデータに変換してコンピューターに保存

QYデータ【Save】

QY100のすべてのデータをバルクファイルとしてコンピューターに保存



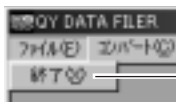
QYコントロール【Ctrl】

QY100のソング/ユーザースタイルネームをコンピューターにリスト表示し、1つまたはすべてのソング/ユーザースタイルをクリア

SMFデータ【Send】

コンピューターに保存されているSMFデータ1つをQY100に送信

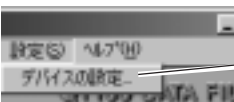
■ データファイラーのメニュー表示



QY100データファイラーを終了します。

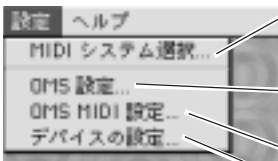


トップ画面のQYデータ[Save]と同様
 トップ画面のQYデータ[Send]と同様
 トップ画面のSMFデータ[Conv.]と同様
 トップ画面のSMFデータ[Send]と同様
 トップ画面のQYコントロール[Ctrl]と同様



Windows版

QY100との間でデータ(バルクデータ)をやりとりするために必要なMIDIドライバーの設定をします。



Macintosh版

使用するMIDIドライバー(MIDI ManagerまたはOMS)を選択します。また、ここでOMSを選択した場合、以下の設定が有効になります。
 OMS Setupを起動して、有効にするセットアップファイルを選択します。
 使用する外部ポートを選択します。
 使用するデバイスを設定します。



Windows版

PDF形式のマニュアルを起動します。
 QY100データファイラーのバージョン情報などを表示します。

■ デバイスの設定について

QY100データファイラーが、QY100との間でMIDIデータ(バルクデータ)を送受信するために必要なMIDIドライバーの設定をします。

Windowsをお使いの方は

1 「設定」メニューから「デバイスの設定」を選びます。

「MIDIポートの設定」ダイアログボックスが表示されます。



2 使用するMIDIドライバーを設定します。

「MIDI IN Port」、 「MIDI OUT Port」の各[▼]ボタンをクリックすると、ドロップダウンリストが表示され、MIDIドライバーを選択できます。

- QY100のTO HOST端子とコンピューターのシリアルポートを直接接続している場合
 - 「MIDI IN Port」で「YAMAHA CBX Driver」、 「MIDI OUT Port」で「YAMAHA CBX A Driver」を選択してください。
- QY100のMIDI端子とコンピューターを、MIDIインターフェース経由で接続している場合
 - 「MIDI IN Port」、 「MIDI OUT Port」ともに、お使いのMIDIインターフェースに合ったMIDIドライバーを選択してください。詳細は、お使いのMIDIインターフェースの取扱説明書をご覧ください。

3 [OK]をクリックします。



- デバイスの設定を行なうには、あらかじめMIDIドライバーがインストールされている必要があります。

Macintoshをお使いの方は

- 1 「設定」メニューから「MIDIシステム選択...」を選びます。
「MIDIシステムの選択」ダイアログが表示されます。



- 2 使用するMIDIドライバーを設定します。
MIDI ManagerまたはOMSにチェックを入れます。
- 3 [OK]をクリックします。

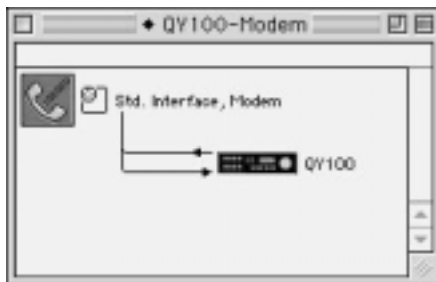
OMSをお使いの場合は、さらに以下のOMSのセットアップが必要です。

- 4 「設定」メニューの「OMS設定...」を選択すると、OMS Setupが起動します。
OMS Setupが自動的に起動しない場合は、「Opcode」の中にある「OMS アプリケーション」フォルダの中にある「OMS Setup」を選択します。

- 5 OMS Setupの「ファイル」メニューの「開く」を選択すると、ダイアログが表示されます。
「OMS Setup for QY100」フォルダ内にある「QY100-Modem」を選択して開きます。Performa など、モデムポートを使用できない機種の場合は「QY100-Printer」を開きます。

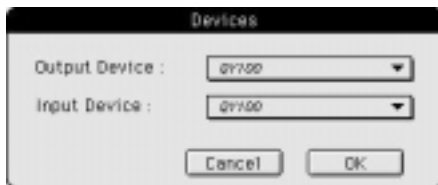
- 6 OMS Setupの「ファイル」メニューの「セットアップを有効にする」を選択します。

これでQY100用のセットアップが、現在のスタジオセットアップとして登録されます。



- 7 QY100データファイラーのウィンドウをアクティブにして、「設定」メニューの「OMS MIDI 設定...」を選択すると、OMS MIDIの設定ダイアログが表示されます。
使用するポートと「バックグラウンドでMIDI使用」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。

- 8 「設定」メニューの「デバイスの設定...」を選択すると、デバイスの設定ダイアログが表示されます。
ボックスをクリックして、「[Output Device]」と「[Input Device]」に「QY100」を選択して、「OK」をクリックします。



- デバイスの設定ダイアログ上で「QY100」がうまく選択できない場合があります。ボックスをクリックしてプルダウンメニューを表示させ、「QY100」の表示の上でもう一度クリックしてください。

■ MIDI Managerについて(Macintoshをお使いのお客様へ) ■

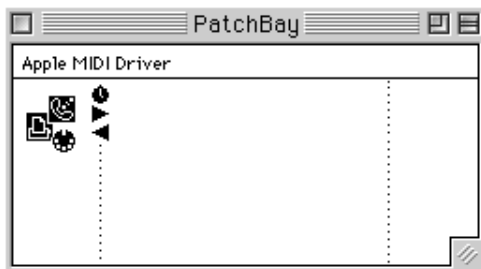
MIDI Managerは、MacintoshのシステムレベルでMIDIを扱えるようにするためのシステム拡張用のファイルで、同時に複数のMIDIソフトを使って、リアルタイムデータのやりとりやシリアルポートの共有などを行なうことができます。

これらの設定はPatchBayを使って、MIDIソフトとApple MIDI Driverを接続することにより、MIDI Managerへの指示を行ないます。

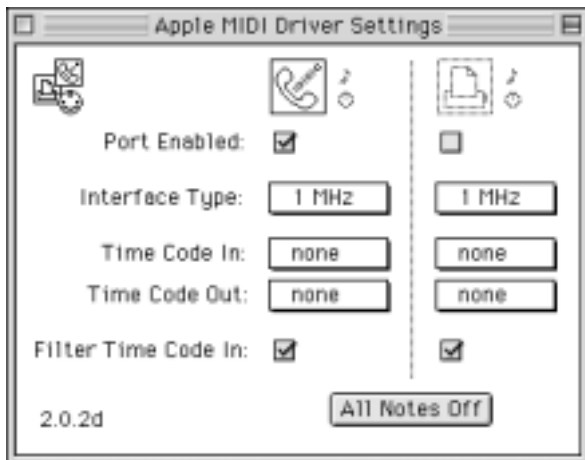
通常、QY100データファイラーを起動すると、自動的にQY100データファイラーとApple MIDI Driverは接続されますので、QY100データファイラーを単体で使用する場合、あまり意識する必要はありませんが、接続ポートを変更したいときは下記をご参照ください。

■ 接続ポートの設定

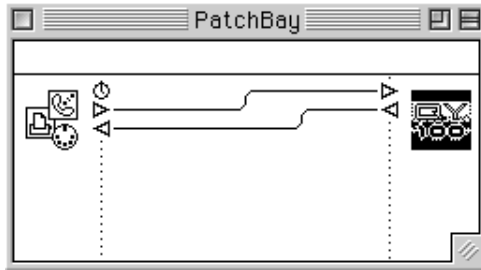
- 1 アップルメニューをプルダウンしてPatchBayを開き、MIDI Managerに対してどのインターフェースを接続するかを指示します。



- 2 Apple MIDI Driverのアイコンをダブルクリックします。
使用するポートや発信周波数(ほとんどの場合は1MHz)を設定します。



- 3 QY100データファイラーを起動した後、PatchBayを開くと、QY100データファイラーとApple MIDI Driverが接続されていることを確認することができます。また、他のシーケンスソフトを起動して、モデム/プリンターポートをQY100データファイラーと共有させるなどの設定を行なうことが可能です。



- * QY100データファイラーをご使用になる場合は、アップルメニューのセクタを使ってApple Talkを不利用の状態にしてお使いください。
- * PatchBayはオンラインヘルプを持っていますので、アップルメニューから「About PatchBay」を選ぶことにより、詳しい情報を得ることができます。
- * Macintosh IIfxまたはQuadraシリーズ(一部の機種)の場合は、シリアルポートの機構が他の機種と違うため、「Serial Switch」をコントロールパネルフォルダに入れる必要があります。5ページの手順でインストールすることによって、「Serial Switch」をコントロールパネルに入れます。
- * モデムを内蔵したPerformaシリーズをお使いの場合は、上記手順2でプリンターポートを選択してください。これらの機種では、設定画面上モデムポートが選択できても、実際にはモデムポート経由でQY100データファイラーを使うことができません。



- Quadraシリーズの中には「Cache Switch」が必要な機種もあります。Macintosh Quadraに添付されているシステムディスク「Tidbits」(システム追加分)の中に、「Cache Switch」が入っていれば、それもシステムフォルダにコピーしてください。コピーが終わったら、アップルメニューからコントロールパネルを開き、「IIfx Serial Switch」のシリアルポート設定を「Compatible」にしてください。また、Quadraシリーズをお使いの場合は、続けて「Cache Switch」の設定を「More Compatible」にしてください。Quadraシリーズをお使いの場合で「このMacintoshでは使用できません。」と表示される場合は、これらの設定は必要ありません。

■ 商品に関するお問い合わせ窓口

CBXインフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町 10-1 TEL (053) 460-1667

- 受付日 : 月～土曜日 (日曜・祝祭日およびセンターの休業日を除く)
- 受付時間 : 10:30～19:00

■ 営業窓口■

EM営業統括部

企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. (03) 5488-5430

EM営業統括部 各地区お問い合わせ先

EM北海道

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター) TEL. (011) 512-6113

EM仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL. (022) 222-6147

EM東京

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. (03) 5488-5471

EM名古屋

〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. (052) 201-5199

EM大阪

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋ブラザビル東館) TEL. (06) 6252-5231

EM九州

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. (092) 472-2130

PA・DMI事業部 PE営業部

MP営業課

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイークラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com/>

よくあるご質問(Q&A/FAQ)

<http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれない場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。

ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは版權を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピュータに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用

できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラムデータファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。



この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)を
使用しています。

この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

ヤマハ株式会社

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2000 Yamaha Corporation